1. 指定管理者名株式会社 コパン(多治見市平和町4丁目48番地の1)
2. 指定期間 平成23年4月1日 ~ 平成28年3月31日
3. 業務の範囲 (1)総合体育館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)総合体育館の利用許可に関すること。 (3)利用料金の徴収に関すること。 (4)スポーツ振興事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点		採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満~95% 4点	(2)適用 当該評価対象年(H27)、過去4年間実績平均値(H23、H24、H25、H26) ・第1競技場:71.7% (平均値比97%=71.7%÷73.9%) ・第2競技場:82.3% (平均値比100%=82.3%÷82.2%) ・第3競技場:32.1% (平均値比90%=32.1%÷35.5%) ・第4競技場:67.6% (平均値比106%=67.6%÷63.7%) ・会議室:16.1% (平均値比84%=16.1%÷19.1%) ・ミーティング室:17.7% (平均値比93%=17.7%÷19.1%) ・和室(1):19.2% (平均値比77%=19.2%÷25.0%) ・和室(2):6.8% (平均値比53%=6.8%÷12.9%)	4点						
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	(2)適用 当該評価対象年(H27)、過去4年間実績平均値(H23、H24、H25、H26) ・第1競技場:51,979人 (平均値比111%=51,979人÷47,018人) ・第2競技場:17,005人 (平均値比119%=17,005人÷14,329人) ・第3競技場:10,798人 (平均値比102%=10,798人÷10,559人) ・第4競技場:17,167人 (平均値比120%=17,167人÷14,302人) ・会議室:2,545人 (平均値比104%=2,545人÷2,458人) ・ミーティング室:1,766人 (平均値比97%=1,766人÷1,830人) ・和室(1):4,829人 (平均値比93%=4,829人÷5,186人) ・和室(2):1,067人 (平均値比80%=1,067人÷1,339人) ・個人利用:18,039人 (平均値比120%=18,039人÷15,079人) ・トレーニング室:49,128人 (平均値比111%=49,128人÷44,235人)	5点						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15)	15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	<生涯スポーツ事業> ラージボール卓球大会(270人)、ドッチビー交流会(45人)、ソフトバレーボール大会(212人)、岐阜県車椅子バスケットボール若鯉大会(130人)、ふれあいダブルスバドミントン大会(104人)、たじみ卓球大会(255人)	仕様書に忠実 11点	・軽スポーツ事業として、ラージボール卓球大会、ドッチビー交流会、ソフトバレーボール大会等、だれでも参加しやすい種目を継続的に開催し、生涯スポーツ活動の場として定着し、多くの参加者数が得られた。 ・車椅子バスケットボール大会では、健常者も体験できる機会を取り入れ、障がい者スポーツへの相互理解につながっている。	11点							
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	<自主事業> キッズ・サッカー教室(延べ271人)、キッズ・チア教室(延べ1,256人)、大人・チア教室(11人)、キッズ・チア合同発表会(102人)、体力年齢チェック(35人)、キッズ空手教室(21人)、V明日夢プロジェクト・バレーボール教室(210人)、ハワイアンフラ教室(7人)	期待以上 12点	・チアを主軸に、子どもから大人を対象とした教室等が展開され、参加者から好評を得た。また、市が課題として取り組んでいる幼少期の豊富なスポーツ体験の一助を担うものとなった。 ・定着している事業のほか、ハワイアンフラ教室は新企画であったが、参加者数の確保や市民の運動ニーズを取り入れた。	12点									
(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	報告書P.64~77参照 毎日実施(床、出入口、清掃、トイレ、吸殻、ごみ、屋外路面、トレーニング機器) 随時実施(壁面、窓枠、側溝、消毒、施肥)、ロビーワックス年4回、草刈年6回、樹木剪定年6回、芝生除草年6回)等	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	9点								
	②保守・点検			報告書P.63~64参照 定期保守点検(消防設備年2回、防火対象物年1回、自家発電装置年6回、非常通報装置年12回、直流電源装置年2回、エレベーター年12回、受水槽年1回、空調設備年4回、照明電源制御システム年1回、トレーニング機器年2回、体育器具年1回)。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。									
	③保安・警備			職員による日常点検及び定期点検を実施。 異常発見時、関係機関への連絡体制が表示され、迅速な対応への職員研修を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。									
	④小規模修繕			報告書P.79参照 小規模修繕(トレーニング室トレッドミル修繕112,860円、消防設備不良箇所修理82,296円、漏水修繕79,920円、洗面台配管取替77,760円、ほか11件、修繕費計905,258円)	一部不備あり 1点	小規模修繕が必要な箇所が、一部、修繕が見送られた。									
	⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			職員による日常点検、定期点検及び法定点検を実施し、不備、故障等、改善の必要があれば早期改善に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。									

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・㈱コパンの管理方法で管理している。 ※市のファイリングシステムと同様	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			・備品、消耗品等の購入は極力環境に配慮した物品を購入。 ・節電、節水、燃料節約について定期ミーティングを実施し、前年度比データ等による職員教育や利用者へ周知するなど、営業に支障ない範囲で省エネを実施している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			・駐車場の身障者スペースを確保。混雑時等は健常者の身障者スペースへの駐車がないようコーンを設置するとともに職員の巡回監視を実施している。 ・段差箇所等へのテープ貼りやPOP表示により注意喚起を実施。 ・障がい者トイレの照明スイッチを大型プッシュ式に交換し、利便性の向上に努めた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			・競技備品は、日常点検及び定期点検により安全に使用できるよう配慮した。 ・消耗品、施設・器具破損は、速やかに補充、更新に努めた。 ・既存備品の更新時は、同等品以上の物品に更新した。 ・競技ルールの変更に伴う必要備品の整備について、迅速かつ適正に実施した。	適正(普通) 2点	おおむね適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			・法律、条令、規則の順守、スタッフへの定期的教育、指導を実施。 ・方が一、不備が生じた場合は、マニュアルにより経緯、対処、責任所在を明確にし、責任者から指示を徹底。 ※マニュアル作成では、㈱コパン独自のガイドラインを設定。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	報告書P.80～82参照 事故報告数 3件 ・バレーボールの練習中、監督者が倒れ込んだ。救急車の要請があり迅速に対応。(疾病履歴から軽い脳梗塞もしくはアキレス腱損傷が疑われた) ・ドッチボール中、ボールキャッチの際、右手の指を損傷。応急処置を施し、専門医への受診を勧めた。 ・バドミントン大会でのプレー中、股関節を開き過ぎ負傷。迅速に救急車を手配し搬送。	事故なし・対応に不備なし 0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	79,027,777円÷73,405,631円=108%	105%以上 5点	指定管理委託料の範囲中で適正に事業実施されている。	5点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	報告書P58、59参照 ・利用報告書によりアンケートを実施し、意見やニーズ把握に努めている。 (アンケート回収件数:4,668件)	期待以上 9点	アンケート結果(利用者の満足度は概ね良好) ・利用満足度(≒)…満足83%、普通17%、不満0% ・館内清掃状況(≒)…きれい85%、普通15%、きたない0% ・窓口受付対応(≒)…良い88%、普通12.0%、悪い0% ※割合の四捨五入では数値として表れないが若干(5件)不備記入者あり	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	報告書P.60参照 ・総数24件	苦情なし・適正(普通) 4点	・施設改善に関するもの(4件)、消耗品の交換に関するもの(3件)、スポーツ器具・用具の更新に関するもの(7件)、利用、マナーに関するもの(4件)、その他(6件) ※スポーツ器具・用具の故障や経年劣化に対する意見が多く、次いで利用者マナー等への意見が多く、優先度を考慮して適切に処理が実施されていたが、中には意見いただく前に対応できる消耗品の交換に対するものもあった。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・施設の予約方法や利用ルールの見直しを実施。 ・スタッフの接客スキルアップを図り、サービス向上を目指す。 ・計画的な修繕計画を立て、迅速な対応により利用者サービスの向上に努める。	適正(普通) 11点	・施設の予約方法、利用ルールについて、現状にマッチしていない事例を分析し、利用者サービスの向上に努める姿勢が見られた。 ・職員の資質向上を目指した職員研修の機会が持たれている。	11点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	・小規模修繕への対応指示	対応等が期待以下(軽微) △1	小規模修繕について、一部、指示箇所の修繕不履行があった。	-1点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計79点	良好